

仕事は生活するためのものであると同時に 自分を変化していくための手段



派遣というスタイルには
柔軟性のある生き方を感じる

——派遣という働き方について、眞鍋さんはどのような印象をお持ちですか？

昔からの友人は派遣で働いている人が結構多いんですよ。派遣スタッフの方は柔軟性があるというイメージですね。いつもフットワーク軽く動いている感じがします。体調を崩して実家に戻っていた友人がいたのですが、最近また東京で派遣として元気に働き

始めたのを見て、住む場所が変わったとしても状況に応じて働くことができるところが派遣のいいところだなと感じます。

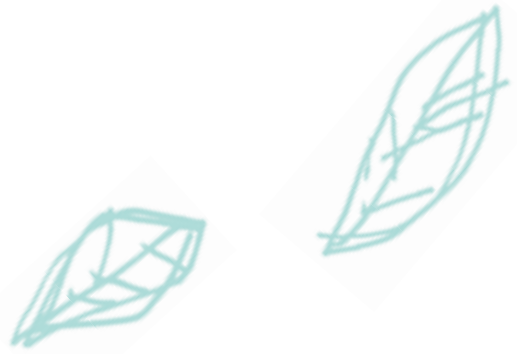
——そうですね。派遣は生活環境に応じて働くスタイルを選べる点の特徴ですね。お友達の働き方を見ていて、他にも何か感じたことはありませんか？

友人を見ていると、自分で働くペースを決められるところも魅力だなと思いますね。私は残念ながら、自分ではなかなか仕事のペースをコントロール

することはできないので、そういった点では羨ましいと思っちゃいます。あと、みなさん、自分の時間を有意義に使っている気がします。仕事を終えた後に、家事や子育てをきちんとこなしたり、熱中できる趣味を楽しんだり、時間の使い方が上手な方がきつと多いんですね。

——派遣で働いている人のなかには、夢に向けての勉強と仕事を両立している方も多いんですよ。

そうなんですか？ 凄いですね！ 私



はこの仕事を始めてから、新しい分野の仕事をすることになって必要に迫られて勉強をしなきゃと思うことはあるけれど、自分で選んで何かを勉強したことはないんです。だから、自ら新しいことを勉強しようとするなんて本当にえらいなと思います。意志が強くないと怠けてしまうと思うので、仕事とやりたいことを両立して頑張っている人は尊敬してしまいます。

**新しい仕事に挑戦するときは
失敗を重ねながら覚えていく**

——眞鍋さんの仕事ぶりはとても幅広く、最近ではスポーツニュースのキャスターに挑戦されていますよね。

私は自分で目標を掲げて突き進むというよりも求められたことに応えていくタイプです。知識があまりなく、得意でない分野の仕事が決まったとしても、どうにかそれに対応してきまして。きた球はなるべくはずさないように、バントでもいいから当てなきゃという感じです(笑)。

——その姿勢が、さまざま分野での活躍につながっているんですね。

新しい分野の仕事に挑戦するときはやはり緊張します。最初は右左わから

ないなかで夢中でこなしていく感じですね。そして失敗を積み重ねていくに従って、どこがわからないのがだんだんわかってくるようになるので、自分なりに資料を探して読んだり、ネットでも調べたり、勉強していきます。失敗しても、そんなに悲観的にならないように心がけ、いつかできると信じてやるようにしています。

**自分の仕事をこなすだけでなく
現場の雰囲気も盛り上げるように**

——多くの番組で多彩な顔を見せてくださる眞鍋さんですが、番組が変われば、スタッフや共演者も毎回変わると思います。それぞれの現場で人間関係を作り上げていく苦労は派遣スタッフと共通する部分があると思うのですが。

そうですね！ 人間関係は一番苦労するところですね。私はもともと人みしりなので、同じ番組の共演者とも仕事の回数を重ねないと上手にコミュニケーションがとれないタイプでした。でも最近は、番組が始まる前になるべく自分から声をかけて、場を和ませることを心がけるようになりました。

——積極的にコミュニケーションを

とろうという気持ちになったのは、何かきっかけがあったのですか？

以前、番組の収録が長引き、深夜になっても終わりが見えない状況がありました。共演者の方々にも疲れが見えてくるなか、ひとり元気に振舞っていたら、収録後にスタッフから、「明るい雰囲気をつくってくれてありがとう」と思いがけずお礼の言葉を言われたんです。私はたまたまその日はテンションが高かっただけなんですけどね(笑)。でも、その言葉を聞いてとても嬉しく感じたし、自分の言動次第で現場の空気に影響を及ぼすということを初めて実感しました。それまでは自分の仕事をこなすのに精一杯で気がつかなかったんですね。それから、なるべくいい雰囲気づくりができるように積極的にコミュニケーションをとるようになりました。

**仕事は自分が変化し、
成長していくための手段**

——ところで、眞鍋さんにとって、仕事とはどういう存在のものだと言えますか？

昔から母に「大学を出たら、親はまったく子どもを養う義務はない」と言われ続けていました。だから、「働かな



Profile

プロフィール

眞鍋かをり

1981年愛媛県生まれ。横浜国立大学在学中にデビュー。ブログ「眞鍋かをりのここだけの話」が話題になり、「ブログの女王」としてブレイク。現在はテレビ「おもいっきりイイ!! テレビ」(NTV系)、「メガスポ!!」(TX系)などで活躍中。

くちゃー!」という強迫観念が強く(笑)。学生時代から始めた芸能界の仕事も、大学を卒業する時点で本当にこの仕事で生活していけるのか考えた末に続けていくことを決断しました。

——お話をうかがっていて、とても地に足が着いた女性だなという印象を受けるのは、お母さまの影響なんですね。

生活をしていくために仕事をするのは当たり前と思うと同時に、自分が変化していくための手段でもあると考えています。新しい仕事に挑戦するのは大変ですが、やり遂げると自分が成長できたと実感できます。同じ仕事の連続だと、慣れてしまっただけで成長しないような気がして。

——眞鍋さんと同じように、いろいろな職場を経験してステップアップしたいからと、派遣を選ぶ方も多いんですよ。

確かにそうですね。友人と仕事の話をする時、正社員として働いている人はこの日常がずっと続くかと思うと怖いと言っているし、派遣スタッフの人は将来が予想できないのが怖いと言っています。でも、私は変化のない

日々は苦手なので、もし会社勤めをするとしたら、新しい職場での仕事で刺激を受け続けられる派遣のほうが向いているのかもしれない。

自分に求められる役割を果たせるようにしたい

——仕事をしていくうえで、眞鍋さんが思い描く「なりたい自分」像というものはありますか？

たとえば、テレビ番組で私が起用された場合、何らかの役割が私に求められていると思うんです。それをそのときどきで的確に読み取って、求められる役割を果たしていけるようになりたいと思っています。やり遂げたときは嬉しいし、うまくできたときは番組の放送を見て確認しなくてもわかるもの。その手ごたえをできるだけたくさん感じていきたいですね。

——仕事以外でのひとりの女性として、「なりたい自分」のイメージについても教えていただけますか？

無理をしたくないと昔から思っています。それは怠けるということではなくて、常に自然体にいるということ。素朴なことや小さなことに喜びを見出せる自分になりたいですね。あまり大き

いもの求めすぎると、いつまでたっても幸せになれないんじゃないかと思うので。

——小さなことに喜びを見出すというのは、ブログを拝見してもよく伝わってきますね。それでは、今後こんな仕事に挑戦できればいいな、というような目標はありますか？

10年後とか5年後のこととかはまったく考えていません。だって、この仕事をしていると1年後に状況がどう変わっているかわからないですから。そういった点でも派遣スタッフの方と共通する部分がありますよね。だから、私はいま目の前にあることにどう真剣に取り組むかが大切だと思っています。そうすることで先にながっていく気がします。

——最後に派遣で働く方へのメッセージをお願いします。

いまはいろいろな生き方を選べる時代だと思います。企業が求めているニーズと派遣スタッフの方が希望する働き方がうまくマッチして、ひとりでも多くの方が自分なりのペースで理想のライフスタイルを実現しているんじゃないかと思っています。



「なりたい自分」を手に入れる 20名のスタッフに、輝くヒントをインタビュー

派遣スタッフとして働く20名の方々に

派遣で働く理由やメリット、

派遣先での心がけや仕事術についてうかがいました。

派遣で輝く方々の言葉には

「なりたい自分」になるためのヒントがいっぱいです。

20名の派遣スタッフインタビューを読んで

あなたも「なりたい自分」を手に入れてみませんか。

